

講座報告

日本語教授 土屋博映

『源氏物語』の読み方，解説について 平成16年7月13日～8月24日（5回）

（大宮市馬宮公民館）

上記のような題目と期日で，以下のような内容で講座を行った。

日本古典文学史上最高傑作である『源氏物語』を講義した。まずは基礎事項である『源氏物語』が成立する背景である，歴史の流れ，文学史の流れ，についてふれた。藤原貴族の頂点にたった，道長の存在，そして女房文学が発展するべき，文学の流れをわかりやすく解説。また作者である紫式部の家系，彼女の生い立ち，とくに父と夫との関係にもふれる。彼女に最大の影響を与えたのは夫の死であったことを強調する。対人関係としては，清少納言との関係について詳しくふれた。次に宮中での生活などを，主に『紫式部日記』の内容などから，ヴィジュアルに解説した。つまり，環境と遺伝というとらえかたをしたのである。まとめとして，『源氏物語』の概要と主要登場人物を簡潔明瞭に解説した。講義として，④夕顔，⑤若紫，⑥末摘花の3巻の有名部分を取りあげ，わかりやすく読み解いていった。お年寄りの方が多いので，人生論などをからめ，雑談を大いにまじえ，楽しく解説するようにつとめた。